

日本体育科教育学会第 30 回大会 開催要項

(第二次案内)

- ◇主催 : 日本体育科教育学会
◇共催 : 国士舘大学
◇後援 : 東京都教育委員会、世田谷区教育委員会
◇開催日 : 令和 7 年 6 月 28 日(土)・29 日(日)
◇会場 : 国士舘大学世田谷キャンパス 〒154-8515 世田谷区世田谷 4-28-1
アクセス <https://www.kokushikan.ac.jp/access/setagaya/>
小田急線「梅ヶ丘」駅から徒歩約 9 分
東急世田谷線「松陰神社前」駅から徒歩約 6 分

◇スケジュール :

【第 1 日目(令和 7 年 6 月 28 日(土)12:00-17:40)】

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 理事会 | 11:00-12:00(34 号館 B304 教室) |
| 受付開始 | 12:00- (34 号館 B304 教室前廊下) |
| 開会行事 | 13:00-13:10(34 号館 B301 教室) |
| シンポジウム | 13:10-16:30(34 号館 B301 教室) |
| | 13:10-13:15 シンポジウムの趣旨説明 |
| | 13:15-13:35 演者①:清田美紀先生(環太平洋大学) |
| | 13:35-13:55 演者②:千田幸喜先生(盛岡市立黒石野中学校) |
| | 13:55-14:15 演者③:後藤晃伸先生(中京大学) |
| | 14:15-14:30 休憩・移動 |
| | 14:30-15:20 分散会 |
| | 分散会会場1 (34 号館 B301 教室) |
| | 分散会会場2 (34 号館 B302 教室) |
| | 分散会会場3 (34 号館 B303 教室) |
| | 15:20-15:30 休憩・移動 |
| | 15:30-15:50 指定討論者:石川泰成先生(埼玉大学) |
| | 15:50-16:20 討議内容の情報交換・質疑応答 |
| | 16:20-16:30 総括 |
| ポスター発表 | 16:40-17:40(34 号館 B 棟 3 階廊下) |
| 情報交換会 | 18:00-19:30(34 号館地下学生食堂) |

【第 2 日目(令和 7 年 6 月 29 日(日)9:00-12:30)】

- 研究発表(口頭発表)
- | | |
|-----------|--|
| 第 1 セッション | 9:00-10:00 (34 号館 B301・302・303 教室) |
| 第 2 セッション | 10:00-11:00(34 号館 B301・302・303 教室) |
| ラウンドテーブル | |
| 第 3 セッション | 11:15-12:30(34 号館 B201・202・203・204・205・301・302・303・304 教室) |

◇課題研究シンポジウム

<テーマ>

「現行学習指導要領の振り返りと次期学習指導要領改訂に向けての期待
～作成協力者の視点から～」

<演者>

小学校作成協力者:清田美紀先生(環太平洋大学准教授)

中学校作成協力者:千田幸喜先生(盛岡市立黒石野中学校 校長)

高等学校作成協力者:後藤晃伸先生(中京大学准教授)

<指定討論者>

石川泰成先生(埼玉大学教授・元教科調査官)

<司会>

荻原 朋子(順天堂大学)、山本 理人(北海道教育大学)、須甲理生(日本女子体育大学)

<テーマ設定の趣旨>

現行の学習指導要領は平成29年・平成30年に告示されてから約8年が過ぎ、令和6年度をもって小学校から高等学校までが完全施行となった。現在は、現行学習指導要領での成果を検討すべく、文部科学省、国立教育政策研究所によって学習指導要領実施状況調査が行われており、2024年7月10日には、「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会」において「令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査について（ペーパーテスト調査等）」（速報版）が報告されている。なかでも、小学校体育（運動領域）においては、平成29年学習指導要領の主な改訂のポイントとして、育成を目指す資質・能力の3つの柱のうち、「知識及び技能」として知識と技能を関連付けて示すこと、「思考力、判断力、表現力等」として、表現力を新たに示すこと、「学びに向かう力、人間性等」として、従前に引き続き内容を示すとともに、共生の視点を新たに示すこととした。今回の調査によって明らかになった成果と課題では、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する態度の理解について相当数の児童ができていたことが明らかになった。一方で、体づくり運動領域の体ほぐしの運動の目的の理解や、水泳領域のクロールにおける自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫することに関する思考力、判断力については課題があることが報告された。以上のように、小学校においては学習指導要領実施状況調査(速報版)の結果がまとめられ、今後は中学校、高等学校の調査結果についても報告されると考えられる。他方で、現行学習指導要領における学習成果を検討した研究もこれまで少しずつ蓄積されている。

このように、現行学習指導要領が施行されてから一定期間が過ぎたことから、今後は各学校段階における現行学習指導要領の振り返りを行うとともに、次期学習指導要領の改訂に向けて、体育科・保健体育科の方向性について議論し、本学会会員間で共有する必要があると考える。

以上のことから、本シンポジウムのテーマを「現行学習指導要領の振り返りと次期学習指導要領改訂に向けて」として設定することとした。本シンポジウムでは、現行学習指導要領の作成協力者にご登壇いただき、作成協力者の視点から現行学習指導要領を振り返り、その成果と見え始めている課題、そして、次期学習指導要領の改訂に向けて議論すべき点などについて、ご発表いただきたいと考える。

（参考資料）今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会（2024）令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査について（ペーパーテスト調査等）。

https://www.mext.go.jp/content/20240710-mxt_kyoiku01-000037001_02_2.pdf

◇口頭発表プログラム

6月29日（日）9：00～10：00

座長：佐藤 善人（梶山女学園大学）

会場	発表 時間	演題 番号	演 題	演者 (所属)
第 1 セ ッ シ ョ ン 【A会場】 B301教室	9:00	O-1	クラウチングスタートから地面を押す動作に着目した中学校短距離走授業	齊藤 雅記 (山口大学)
	9:15	O-2	ゲーム論に基づくマット運動の検討	稲垣 友裕 (常葉大学)
	9:30	O-3	誰もが運動固有の面白さを味わうことを目指した「ルール学習」の検討 ー小学校ゲーム・ボール運動の学習を対象としてー	長坂 祐哉 (東京学芸大学附属世田谷小学校)
	9:45	O-4	性別にみた「学びに向かう力，人間性等体育授業評価尺度」得点の比較 ー小学校高学年から高等学校までの児童生徒を対象にしてー	高橋 野人 (桐生市立新里東小学校／立命館大学大学院)

6月29日（日）9：00～10：00

座長：加登本 仁（安田女子大学）

会場	発表 時間	演題 番号	演 題	演者 (所属)
第 1 セ ッ シ ョ ン 【B会場】 B302教室	9:00	O-5	小学校体育科における受容感を育む関わりが児童の運動意欲や行動に与える影響 ー小学校6年生におけるハンドボールの授業を通してー	金子 泰子 (富山国際大学)
	9:15	O-6	小学校低学年を対象とした形成的授業評価法の開発 ー体育科授業実践でのVisual Analog ScaleとLikert Scaleの比較を元にー	七澤 朱音 (学習院大学大学院・千葉大学)
	9:30	O-7	体育授業をシングルケースデザインで評価する	高山 智史 (長野大学)
	9:45	O-8	我が国における社会化論に依拠した授業研究に関するスコーピングレビュー ：体育授業研究に対する社会化論の援用可能性	甲斐 義一 (大分県教育委員会／立命館大学大学院)

6月29日（日）9：00～10：00

座長：鈴木 聡（東京学芸大学）

会場	発表 時間	演題 番号	演 題	演者 (所属)
第 1 セ ッ シ ョ ン 【C会場】 B303教室	9:00	O-9	中学校保健体育科教諭における初任時の信念の変容	近藤 佑斗 (札幌市立真栄中学校)
	9:15	O-10	体育授業の協議会に対する教師たちの期待 ー「授業者」と「参会者」の立場の違いに着目してー	佐藤 洸輔 (札幌市立資生館小学校/ 北海道教育大学教職大学院)
	9:30	O-11	教師教育者の省察が学生に与える影響 初等体育科教育法のセルフスタディを通して	梶井 大輔 (大谷大学)
	9:45	O-12	教員養成系大学における体験的授業が実践的指導力に与える影響 実践的指導力チェックシートによる変化に着目して	佐藤 豊 (桐蔭横浜大学)

6月29日（日）10：00～11：00

座長：中島 寿宏（北海道教育大学）

	発表 時間	演題 番号	演 題	演者 (所属)
第 2 セ ッ シ ョ ン	10:00	O-13	学習指導モデルを適用した大学ダンス授業の効果検証 スポーツ教育モデルと協同学習モデルを用いて	大西 祐司 (びわこ成蹊スポーツ大学)
	10:15	O-14	ダンス教育における鑑賞学習の導入の課題の検討	豊永 洵子 (武庫川女子大学)
	10:30	O-15	体育における素材研究のためのゲーム論的枠組みの構築	白石 翔 (富山大学)
	10:45	O-16	ゴール型ゲーム教材を用いた効果的な体育授業を行うための研修プログラムについて	米村 耕平 (香川大学)

6月29日（日）10：00～11：00

座長：本多 壮太郎（福岡教育大学）

	発表 時間	演題 番号	演 題	演者 (所属)
第 2 セ ッ シ ョ ン	10:00	O-17	インページョンゲームにおける「ボールを持たないとき」の動きの再考	渡部 颯斗 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)
	10:15	O-18	中学生を対象としたクリケット型教材とソフトボール型教材の遠投能力向上に対する効果検証	薄井 好人 (埼玉学園大学)
	10:30	O-19	中学校バスケットボール単元におけるアダプテーション・ゲームの実践的研究 ー生徒の共生意識とゲームパフォーマンスに着目してー	立川 数磨 (順天堂大学大学院)
	10:45	O-20	アダプテーション・ゲームの波及効果	村瀬 浩二 (和歌山大学)

6月29日（日）10：00～10：45

座長：神谷 拓（関西大学）

	発表 時間	演題 番号	演 題	演者 (所属)
第 2 セ ッ シ ョ ン	10:00	O-21	UNESCO教育勧告2023から読み解く体育の意義 ー共生を支えるコンヴィヴィアルな関係構築ー	梅澤 秋久 (横浜国立大学)
	10:15	O-22	日本とモンゴル国の児童の運動有能感の特性と関連性 ～逆上がりと馬に乗れますかの視点から～	橋爪 和夫 (アール医療専門職大学)
	10:30	O-23	部活動におけるハラスメントの派生要因に関する研究成果の批判的検討	秋元 香穂 (日本体育大学大学院)

◇ポスター発表プログラム

【日時】6月28日(土)16:40～17:40

【会場】34号館B棟3階廊下

演題番号	演 題	演 者 (所属)
P-1	保健体育科教員養成課程の学生が有する「ベースボール型授業観」の様態に関する事例調査 ：体育授業観との比較を手掛かりに	福田 健太郎 (広島大学附属福山中・高等学校)
P-2	ダンス授業における準備運動としての「Just Dance Now」の有用性の検証 ：大学生を対象とした実証調査から	松永 彩希 (広島大学)
P-3	幼児体育版組織的観察法の外的妥当性の検証	川戸 湧也 (三重大学)
P-4	リスク受容性が河川における水難事故防止学習の教育効果に及ぼす影響 ：予防行動の意図に影響を及ぼす諸要因の変化及び持続性に着目して	稲垣 良介 (岐阜聖徳学園大学)
P-5	2人連鎖交互跳びにおける技能習得の過程と動作特徴の分析 －大学生のペア活動に着目して－	大森 宏一 (大阪信愛学院大学)
P-6	「共生の視点」を重視した体育授業実践に関する構成要素の抽出 －教師教育プログラムの開発に向けて－	梶 ちか子 (鹿屋体育大学)
P-7	体育系大学の教員養成課程における「教科の指導法」に関する授業のシラバス調査 －「コア・リフレクション」を通じた省察プログラムの導入に向けて－	松永 武人 (鹿屋体育大学)
P-8	ウェルビーイングを高める高等学校体育授業実践 －自己実現と成長因子に着目して－	古見 葵 (横浜国立大学)
P-9	小学校体育科授業におけるルール変更と応援の効果の考察 －ボール運動につながる低学年ゲーム領域を中心として－	牧澤 利光 (鳴門教育大学大学院/聖隷クリストファー小学校)
P-10	小学校の運動会における「表現運動」実践の可能性	和光 理奈 (中京大学)
P-11	強度を一定にコントロールして実施する持久走の授業効果の検討 光学式心拍数計を用いたエネルギー消費量に着目した分析	佐藤 健太 (名古屋大学教育学部附属中・高等学校)
P-12	児童の体力・運動能力の高低を分ける要因とその分割点の探索 -体育授業・生活習慣に着目して-	藤浪 大輔 (大阪体育大学大学院)
P-13	小学校教育実習の授業後の協議会における談話の分析	江藤 真生子 (琉球大学)
P-14	創作表現活動を継続するための仕組みと作品上演における脱劇場の試み	新山 順子 (岡山県立大学)
P-15	中学校ダンス授業におけるグループ編成方法が生徒間コミュニケーションの様相に与える影響	西田 佳穂 (北海道教育大学教職大学院)
P-16	「楽しさ」に着目したエクササイズ効果の検証	北村 瞳 (武庫川女子大学)
P-17	感覚統合理論を活用した体づくりの運動遊びの事例的研究 －小学校教師へのインタビュー調査からの検討－	北林 真実 (広島大学大学院)
P-18	回帰二進木分析を用いた全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用 －体力合計点に影響を与える質問紙調査項目の探索－	山本 聖也 (大阪体育大学)
P-19	年度当初における中学校保健体育教員の授業への意識に関する検討 -初任者と熟練者の比較を通して-	白川 敦 (札幌市立八条中学校/ 北海道教育大学大学院博士後期課程)
P-20	児童の失敗に対する価値観が自己調整学習方略に及ぼす影響について	村上 雅之 (札幌市立伏見小学校/北海道大学教育学院)
P-21	中国の小学校における「チャレンジ運動」の授業実践の可能性 －6年生の体適能（体づくり運動）単元において－	YANG, SITONG (筑波大学)
P-22	高等学校の普段の体育授業における野外活動の実践 －「3年生が企画する選択実技」単元に体育科教員の種目専門性を活かす－	松本 英樹 (筑波大学附属高等学校)
P-23	不便益を観点としたバラスポーツ体験の探索的分類	濱中 良 (京都先端科学大学)

演題番号	演 題	演者 (所属)
P-24	中学校体育授業のベースボール型単元における打能力に関する研究 ー静止したボールを打つ能力の習得から易しい投球を打ち返す能力への発展可能性ー	滝沢 洋平 (大阪成蹊大学)
P-25	中学校体育授業に対する好き嫌いの要因の検討 ーテキストマイニングによる生徒の自由記述の分析からー	浅野 勇 (北翔大学短期大学部)
P-26	保健体育科教員養成課程におけるベースボール型授業のゲーム展開方式に関する事例的検討	梶田 和宏 (京都先端科学大学)
P-27	『自分もみんなも めっちゃおもしろい体育学習』における一考察 -小学2年生の「走の運動遊び」から「面白い」に着目して-	島倉 晴信 (金沢星稜大学)
P-28	小学校体育授業における学習者のAARサイクルに求められる教師行動	眞野杏里 (横浜国立大学教職大学院)
P-29	創作ダンスの学習におけるAARサイクルの様相	外山 陽大 (横浜国立大学大学院)
P-30	定年退職を迎えた教師教育者のセルフスタディ ：ライフヒストリー法によるアイデンティティの再構築を中心に（その2）	木原 成一郎 (広島大学名誉教授)

◇ラウンドテーブルプログラム

6月29日（日）11：15～12：30

会場	演題 番号	演 題	演者 (所属)
201教室	R-1	つらいだけの持久走・長距離走にさようなら。 ～現場の実際から議論するランニング授業の近未来～	高田 由基 (愛知学泉大学)
202教室	R-2	リズム系ダンスは「非定形型」なのか ー「ステップ」を扱うことを問うー	大橋 奈希左 (京都女子大学)
203教室	R-3	何のために教科として体育を学ぶのか ー「子どもが自分で学びを営む」とはどのようなことなのだろうー	野津 一浩 (静岡大学)
204教室	R-4	各都道府県の教科研究会体育部会における「専門職の学習共同体（Professional Learning Community: PLC）」 の構築の現状	久保 研二 (広島大学)
205教室	R-5	楽しさを深掘りするワークショップ ～領域の特性に着目して～	高橋 修一 (日本女子体育大学)
301教室	R-6	体育授業の「学びのプロセス」を可視化する ～授業分析アプリによる学習過程分析と教師教育支援～	長谷川 悦示 (筑波大学体育系)
302教室	R-7	小学校体育におけるヨガ導入の意義 ー自己感覚の涵養と身体規範の再構成に向けてー	太田 千端 (がっこうヨガ推進委員会)
303教室	R-8	より良い学会誌をめざして：投稿のポイントと査読・編集のあり方を考える	四方田 健二 (名古屋学院大学)
304教室	R-9	体育科教育学における実践的研究と研究倫理	日本体育科教育学会研究企画委員会

◇口頭発表をされる方へのお願い

口頭発表をされる方は、以下のご準備をお願いいたします。

- ・ 発表時間は 10 分、質疑応答は 4 分です。残り 2 分でベル 1 回、発表終了時間にベル 2 回、討議終了時間にベル 3 回でお知らせします。
- ・ 会場となる B301、B302、B303 教室備え付けの PC のデスクトップに PowerPoint のファイルを発表開始前までに移してください(各会場に実行委員スタッフがおりますので、お尋ねください)。ご自身の PC を接続し、発表を行っていただいても構いません。プロジェクターとは HDMI での接続になります。
- ・ iPad などタブレット端末による発表はできません。
- ・ スクリーンセーバーやウイルスチェックならびにその他の通知などは、予め解除しておいてください。
- ・ 持ち込み PC のフリーズなどには大会本部は一切の責任を持ちません。また、それによる発表時間の延長も認められませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 発表資料を配布される場合は、ご自身で必要部数を印刷し、教室前の机に配置してください。

◇ポスター発表をされる方へのお願い

ポスター発表をされる方は、以下のご準備をお願いいたします。

- ・ 発表者ご自身でポスター原稿を印刷の上、会場までご持参ください。
- ・ ポスターパネルのサイズは 120 cm(横)× 165 cm(縦)です。左上角には大会事務局が用意する演題番号を貼付します。ポスターの最上部には、演題名、発表者氏名、共同研究者、所属を各自記載してください。
- ・ 演題番号と押しピンは、大会事務局が用意いたします。
- ・ 演題 1 つに対して 1 枚のポスターパネルが用意されておりますので、指定されたパネルに掲示して下さい。
- ・ ポスターパネルは、初日より 34 号館 B 棟 3 階廊下に設置しておりますので、1 日目より掲示をお願いいたします。
- ・ 発表時間終了後、掲示されたポスターは速やかに各自で撤去してください。

◇ラウンドテーブルをされる方へのお願い

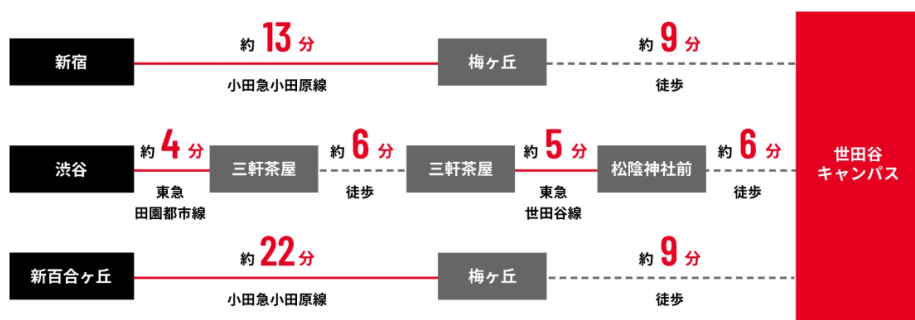
ラウンドテーブルをされる方は以下の点にご留意ください。

- ・ プロジェクターで発表資料等を投影される場合は、各会場備え付けの PC もしくは発表者ご自身のノートパソコン等をご使用ください。
- ・ 各会場の機器等の管理を担当する実行委員スタッフがおりますので、ご不明な点がございましたら、お尋ねください。
- ・ 発表資料を配布される場合は、ご自身で必要部数を印刷し、各会場にて適宜配布してください。

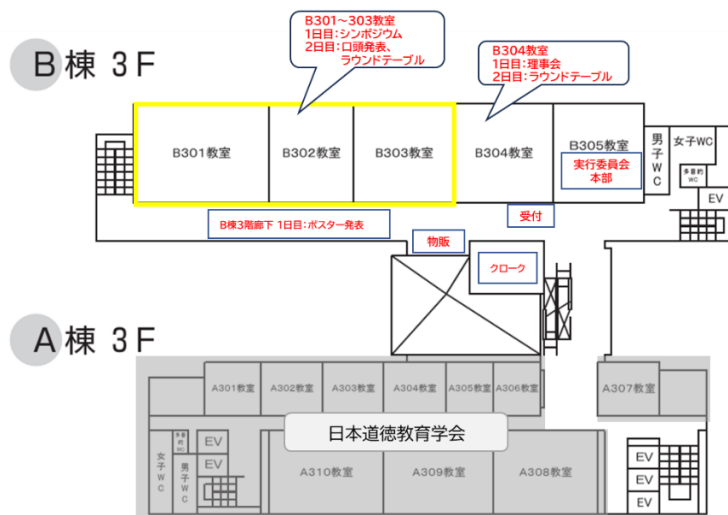
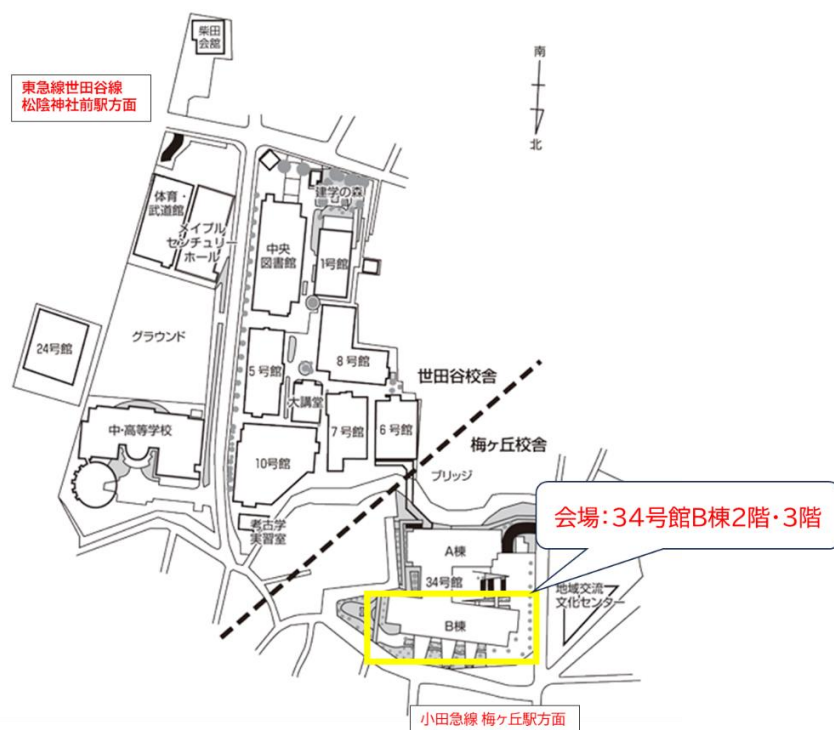
◇会場までのアクセス

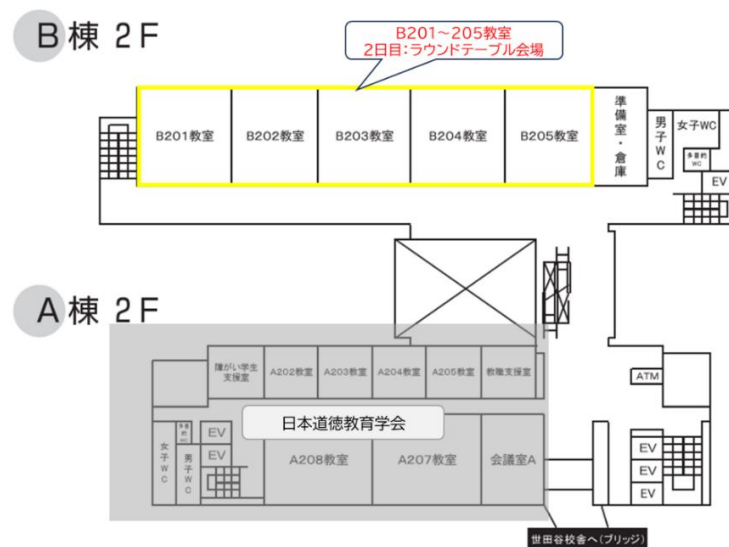
主要駅からの所要時間

- ・ 小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩9分
- ・ 東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩6分



◇国士館大学世田谷キャンパス案内図





※学会大会当日は、**34号館B棟**を日本体育科教育学会が、**A棟**を日本道徳教育学会が使用いたします。

会場をお間違えのないように案内をご確認の上、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

※B305教室は、実行委員会本部となりますので、関係者以外立ち入り禁止となります。

※クロークは、B棟3階受付付近に設置いたします。1日目は、11時～18時まで、2日目は、8時～13時まで開設しておりますので、ご利用ください。

※キャンパス内は全面禁煙となります。

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。自動車・自転車・バイクでの来校はご遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。

※上記の開催方法の変更が生じた場合は、随時ホームページを更新しますので、ご確認の程よろしくお願いいたします。

<日本体育科教育学会第30回実行委員会>

大会実行委員長:細越 淳二(国士舘大学)

事務局長:陳 洋明(国士舘大学)

実行委員:松井 慎一(国士舘大学),佐々木 浩(国士舘大学),小宮 徳健(国士舘大学)

国士舘大学大学院生

<大会に関するお問い合わせ>

日本体育科教育学会第30回大会実行委員会メールアドレス: 30kokushikan@jsppe.jp